

国道210号 横瀬拡幅【直轄】

- 国道210号横瀬拡幅は、日本有数の林業地である日田地域から大分港までの木材運搬ルートであり、木材輸出等の物流効率化を図るとともに、地域の交通混雑緩和及び交通安全確保を目的とする4車線拡幅事業。
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、改良工事等を推進することで、地方を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備を推進。

《位置図》



大分県

《諸元等》

事業区間：大分県大分市大字横瀬

延長：1.5km
全体事業費：46億円
R4補正：0.5億円

《路線位置図》



（起）大分市大字横瀬
（終）大分市大字横瀬

横瀬拡幅 延長1.5km

写真① 写真②

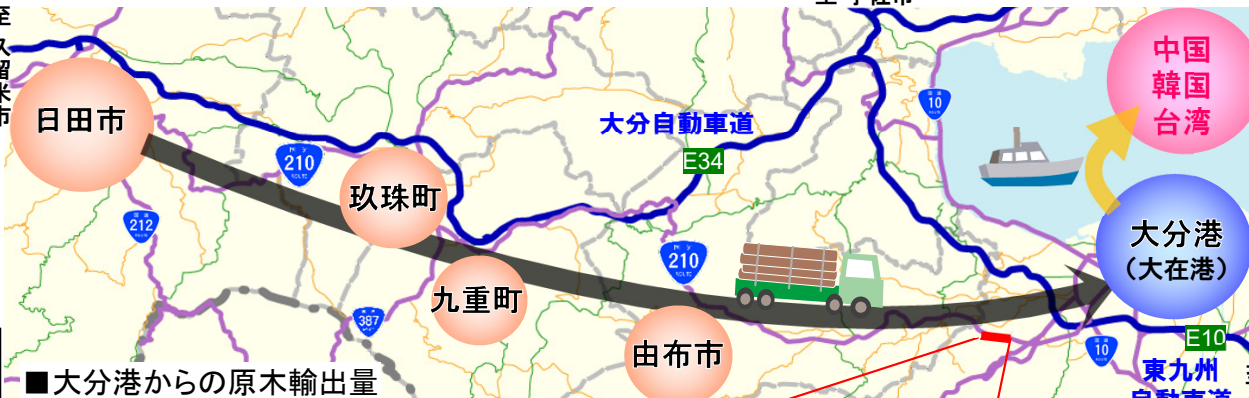
至大分市街地

至大分市街地

【凡例】

- 拡幅区間
- 一般国道
- 一般県道
- 主要市道

《整備効果》

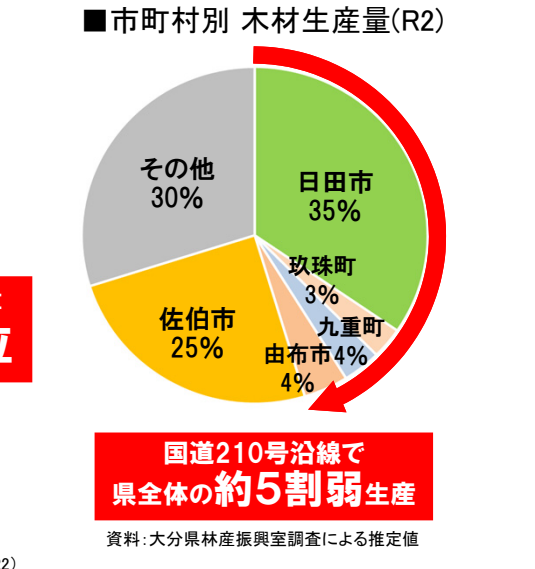
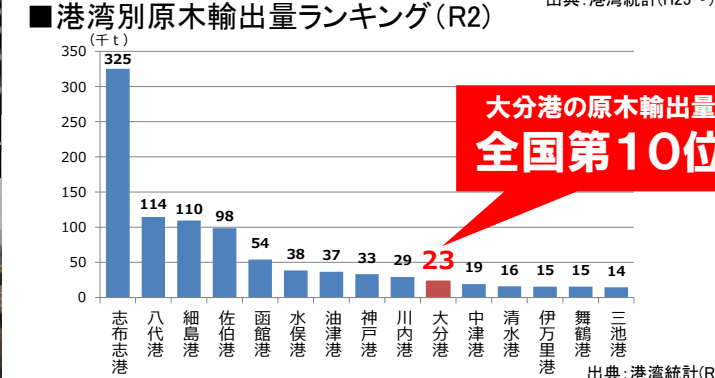
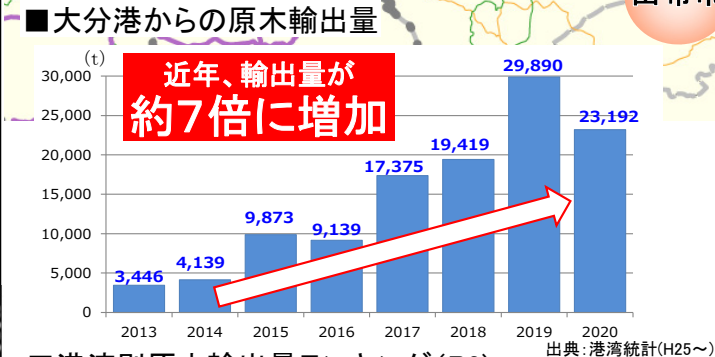


中国 韓国 台湾

大分港（大在港）

東九州自動車道

横瀬拡幅 延長1.5km



国道212号 三光本耶馬溪道路【直轄】

- 国道212号三光本耶馬溪道路は、大分自動車道と東九州自動車道及び重要港湾中津港とを相互に連絡する高規格道路中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び広域観光の振興を支援するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事、トンネル監査路設置工事、舗装工事を実施することで、田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間の令和5年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》三光本耶馬溪道路

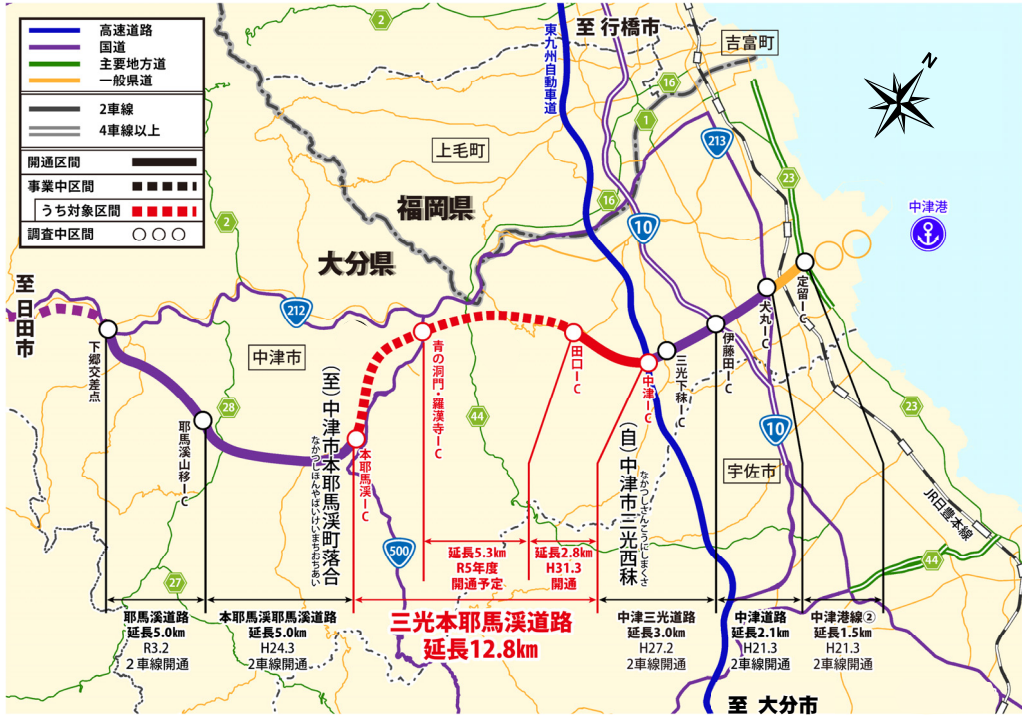


《諸元等》

事業区間：大分県中津市三光西萩
～中津市本耶馬溪町落合

延長：12.8km
全体事業費：576億円
R4補正：13.6億円

《路線位置図》



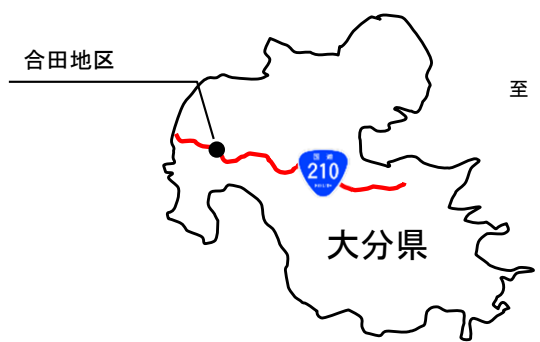
《整備効果》



大分210号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

- 国道210号は、福岡県久留米市を起点とし大分県大分市に至る全長約140kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 橋梁や道路の流失等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道210号日田市合田地区において、根固め工等の洗掘・流失対策工事を実施することで、河川に隣接する道路構造物の流失防止を図る。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間	: 大分県日田市～大分県大分市
延長	: 約97km
R4補正	: 7.6億円

《現地状況写真》

流失防止箇所(全景)



洗掘状況(近景)



《対策イメージ》



国道212号 日田山国道路【補助】

■国道212号日田山国道路は、中津日田道路の一部を構成し、国道212号の災害による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、生活圏の連携強化、大分自動車道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的とした道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県中津市山国町大字 守実～日田市大字三和

延長：8.8km

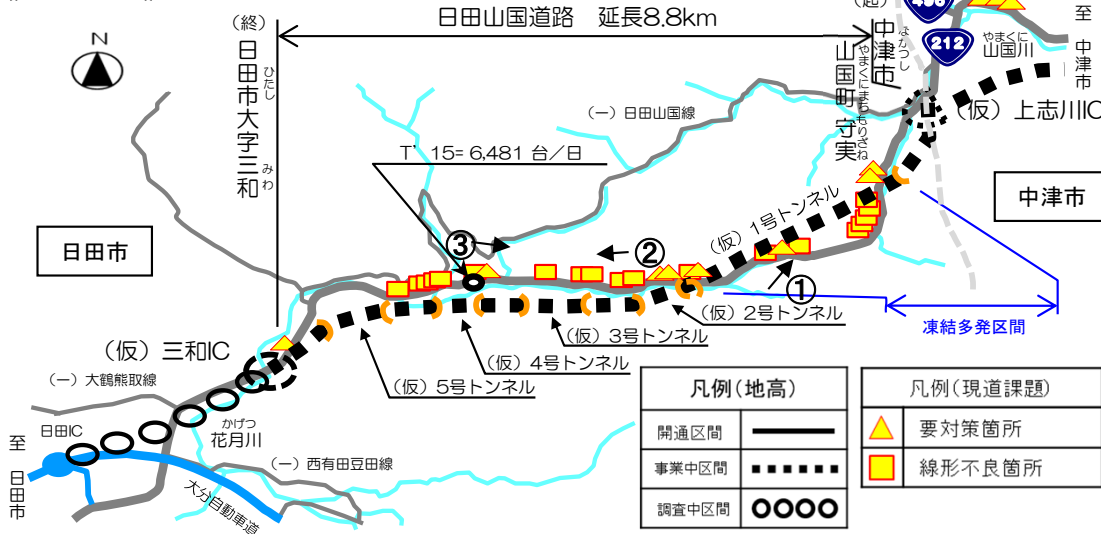
全体事業費：338億円

R4補正：7.0億円

《現地状況写真》



《平面図》



《整備効果》

- 地域産業の活性化を支える効率的な物流ネットワークの確保
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 中津市・日田市から第3次救急医療施設（別府・大分・北九州・久留米）へのアクセス向上に寄与



国道326号 三国峠橋 道路メンテナンス事業【補助】

- 国道326号三国峠橋は国道10号と国道502号を結ぶ緊急輸送道路上に位置する橋梁であり、1980年（橋齢42年）の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ）。
- 三国峠橋は、橋脚や橋台、支承の劣化が著しく進行していることから、補正予算の充当により、断面修復、ひびわれ注入、支承塗装塗替えを実施することで、緊急輸送道路の機能強化や地域防災上の安全、安心の確保を図るとともに、予防保全型メンテナンスへの早期転換を図る。

《代表箇所》

事業箇所：三国峠橋（橋長：142m）
架設年次：1980年
判定区分：Ⅲ（2019年度）
路線名：国道326号
所在地：大分県佐伯市
全体事業費：4.0億円
R4補正：2.7億円

《長寿命化修繕計画》

道路メンテナンス事業（大分県内）

R4補正：25.1億円

《事業箇所》

《位置図》



《平面図》



《現地状況写真》



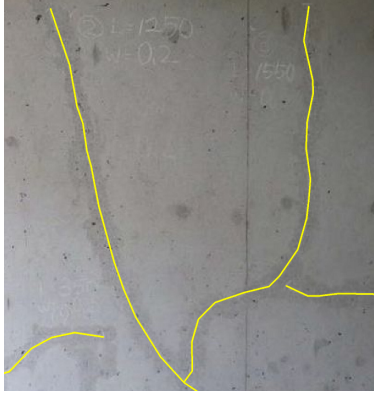
全景



コンクリートのひびわれ



支承の腐食



断面修復・ひびわれ注入

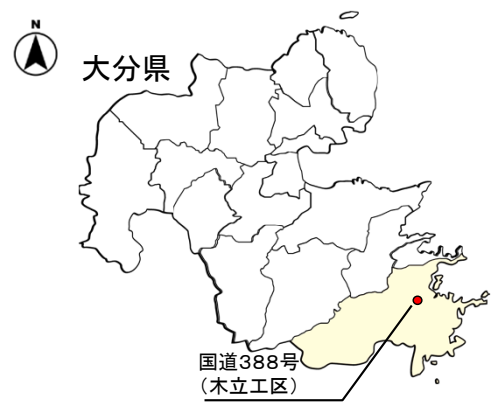


支承塗装塗替え

国道388号(木立工区)【補助】

■令和3年度通学路合同点検で抽出された対策必要箇所において、通学路の安全な通行を早期に確保するため、補正予算の充当により、歩道設置工事を実施することで、警察が実施するソフト対策と組み合わせた交通安全対策を推進。

《位置図》



《現地状況写真》



整備前
歩道が無く、車両が通学児童の真横を通過



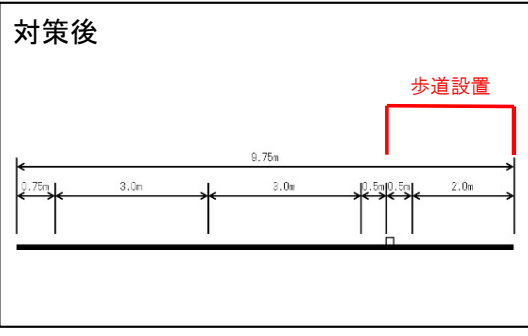
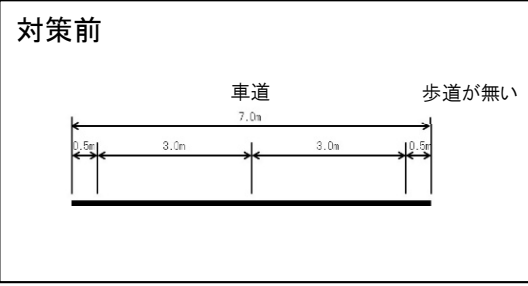
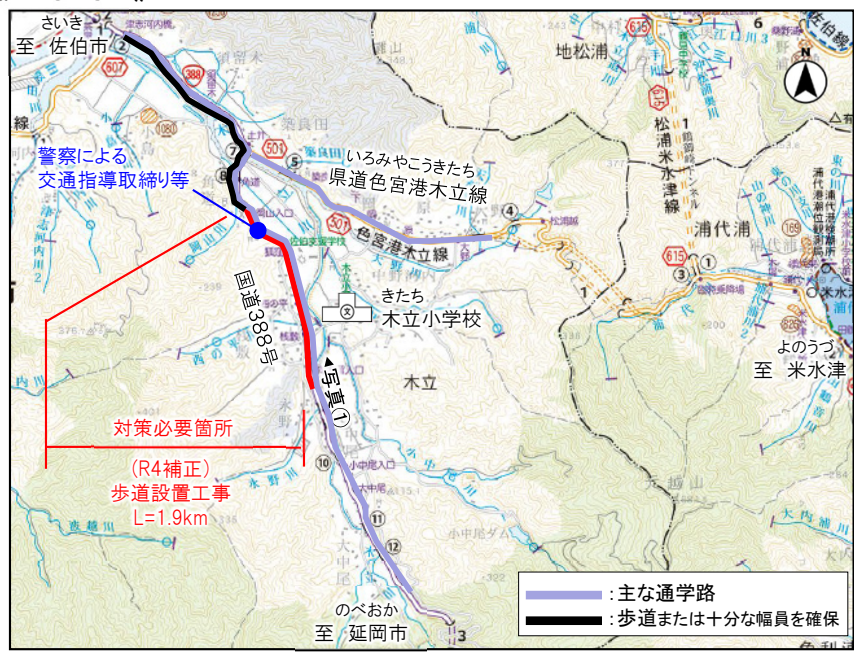
対策イメージ
歩道の設置により、安全な歩行空間を確保

交通安全対策補助(通学路緊急対策)大分県内
R4補正:23.2億円

《個別事例》
路線名:国道388号(木立工区)
事業箇所:大分県佐伯市
事業主体:大分県

対策内容	
【公安委員会・警察】 ・交通指導取締り等 (内容の拡充等による強化)	【道路管理者】 ・歩道設置

《平面図》



国道10号 都城道路(Ⅱ期)【直轄】

- 国道10号都城道路(Ⅱ期)は、高規格道路都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上・下部工工事を実施することで、都城IC～乙房IC間の令和6年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



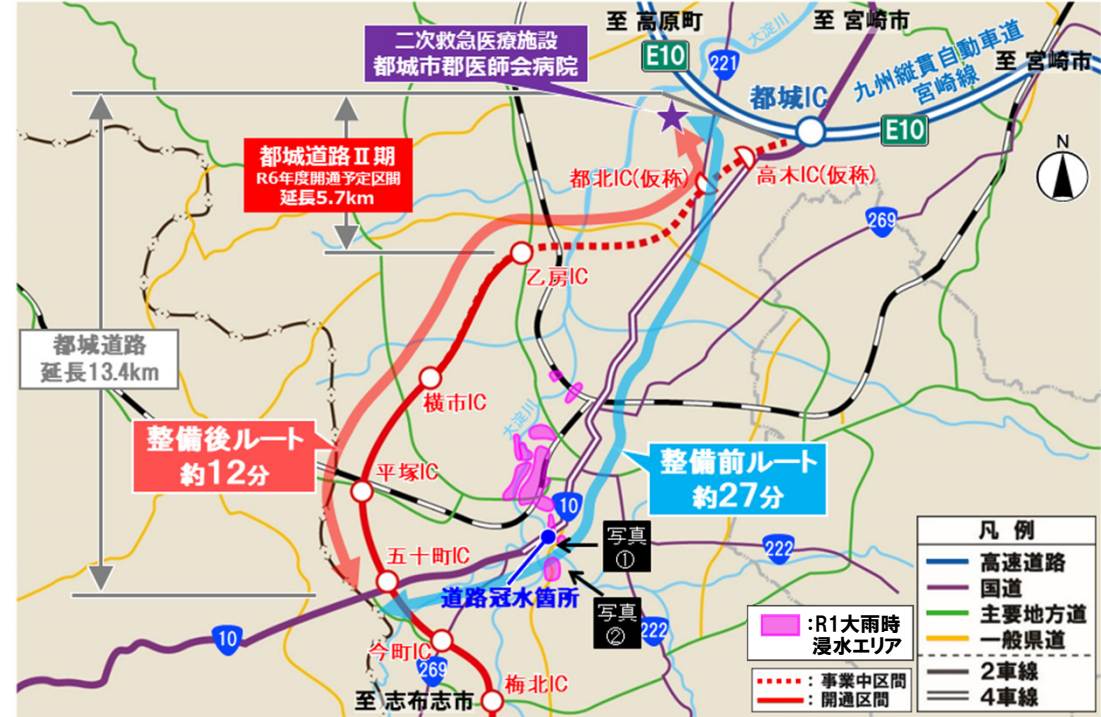
《諸元等》

事業区間	宮崎県都城市高木町 ～都城市乙房町
延長	5.7km
全体事業費	356億円
R4補正	17.6億円

《被災状況等》



《路線位置図》

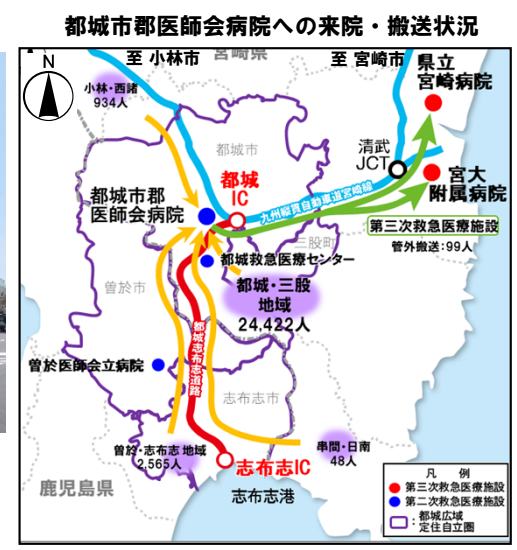


《整備効果》

○本路線の整備により、高次医療施設への搬送時間短縮が図られるとともに、搬送時の揺れや振動も抑えられ、患者の安静な搬送が期待される。



▲『都城市郡医師会病院』
(H27. 4月移転)



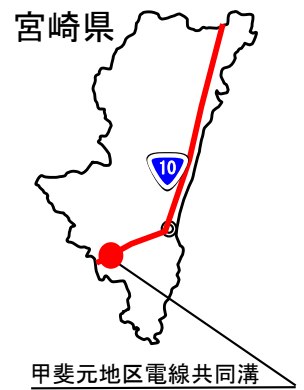
※ETC2.0プローブデータ(R2.4～R3.3)の混雑時旅行速度、都城道路は設計速度を用いて鹿児島県境から都城市郡医師会病院までの所用時間を算出

宮崎10号 電線共同溝【直轄】

- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道10号 甲斐元地区電線共同溝

《位置図》



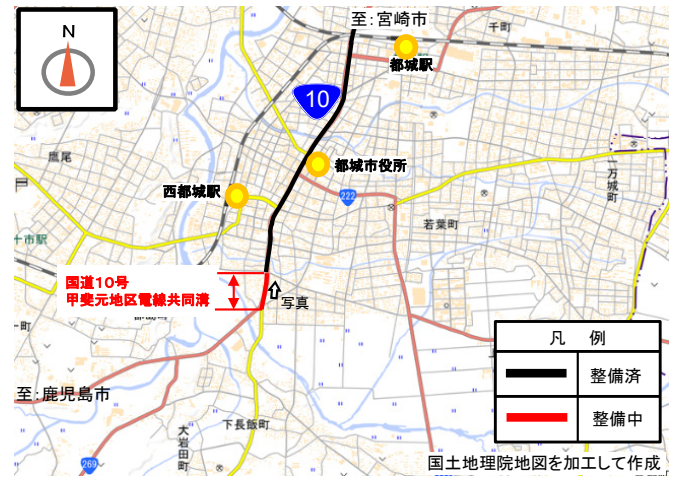
《諸元等》

事業区間	宮崎県都城市甲斐元町
整備延長	0.5 km (両側)
全体事業費	10億円
R4補正	1.1億円

《現地状況写真》



《路線位置図》



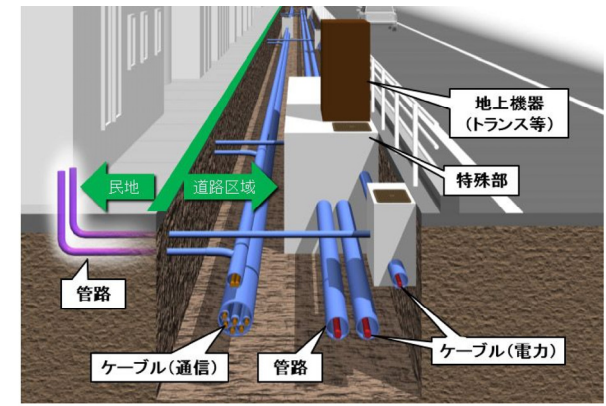
《整備の必要性》

- ・電柱の倒壊による道路閉塞の事例



《電線共同溝とは》

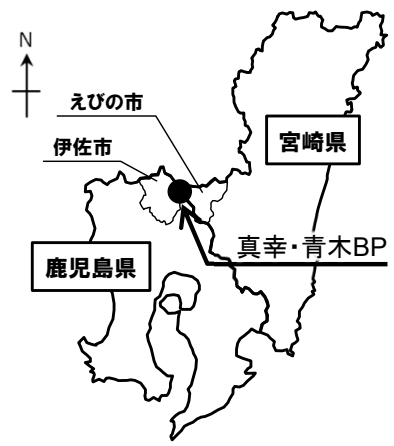
- ・道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



国道447号 真幸・青木バイパス【補助】

- 国道447号真幸・青木バイパスは、九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道を東西で結ぶ路線の一部を構成する重要な道路であり、整備を行うことで狭隘区間解消を目的とした県境を跨ぐ道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事及び調査設計を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

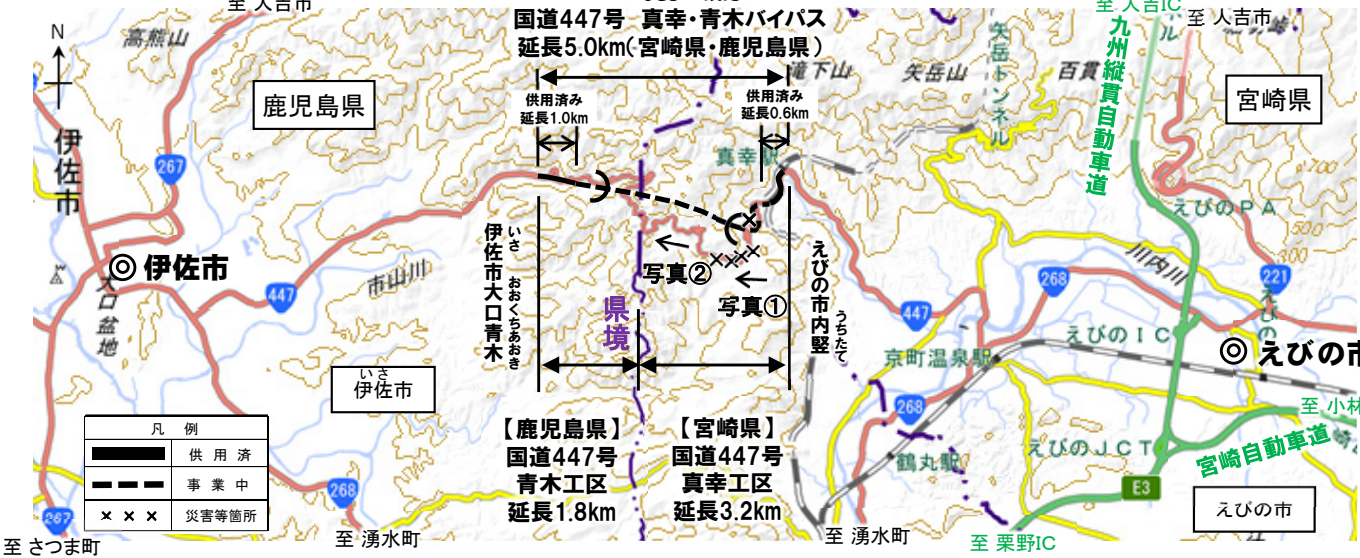
事業区間：宮崎県えびの市内堅～
鹿児島県伊佐市大口青木
事業主体：宮崎県、鹿児島県
延長：5.0km
(宮崎県3.2km、鹿児島県1.8km)
全体事業費：214億円
(宮崎県160億円、鹿児島県54億円)
R4補正：7.3億円
(宮崎県7.0億円、鹿児島県0.3億円)

《現地状況写真》

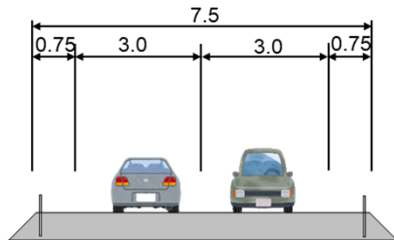


凍結による脱輪

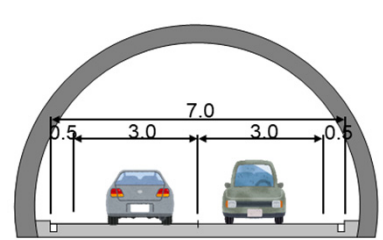
《平面図》



【一般部】

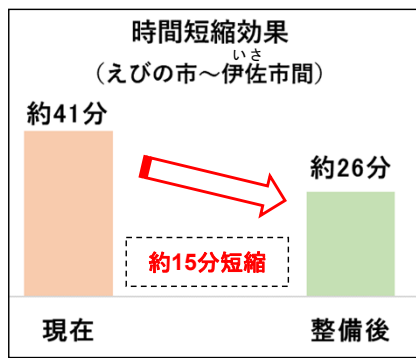


【トンネル部】



《整備効果》

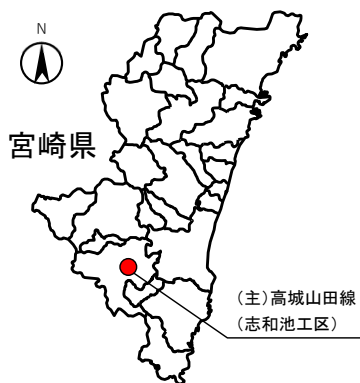
○宮崎県えびの市から鹿児島県伊佐市まで、約15分の時間短縮。
○災害による通行止めが発生(H27～R2:5件最大5日間)していることから、道路整備で通行止め回数の減少が期待できる。



出典：R2宮崎県公共事業評価委員会資料

主要地方道 高城山田線(志和池工区)【補助】

《位置图》



交通安全対策補助(通学路緊急対策)宮崎県内
R4補正:2.9億円

《個別事例》

路線名：主要地方道高城山田線(志和池工区)
事業箇所：宮崎県都城市
事業主体：宮崎県

対策内容	
【学校・地元住民など】 ・見守り活動 ・学校による安全教育	【道路管理者】 ・歩道設置

《現地状況写真》



整備前

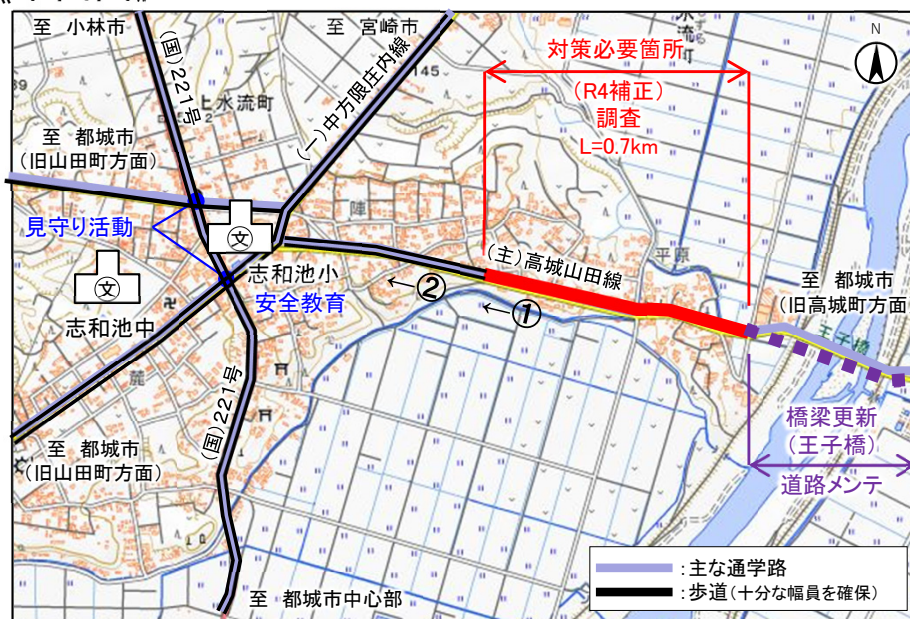
歩道が無く、車両が通学児童の真横を通過



対策イメージ

歩道の設置により、安全な歩行空間を確保

《平面图》

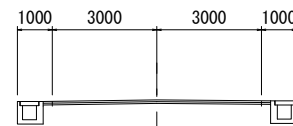


《横断図》

对策前

歩道がない

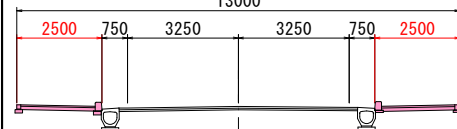
歩道がない



対策後

歩道設置

歩道設置



国道3号 阿久根川内道路【直轄】

- 国道3号阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州西部の地域経済の活性化及び高速定時制性の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県阿久根市鶴川内
～薩摩川内市水引町

延長：22.4km
全体事業費：1,050億円
R4補正：16.3億円

《路線位置図》



《整備効果》

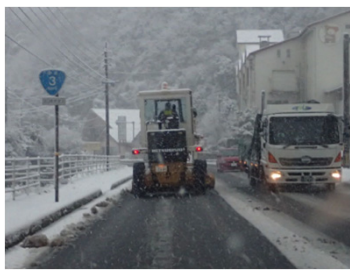
- 当該道路の整備により、並行する国道3号とのダブルネットワークを形成
- 災害時の避難路、緊急輸送道路を確保



写真①：法面崩壊状況



写真②：大雨による冠水状況



写真③：大雪による混雑状況

国道10号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、交差点に右折レーンが無い^{やなぎさこ}ため、直進阻害による追突事故等が発生。
また、柳迫^{やなぎさこ}小学校の通学路に指定されているが、歩道が狭小であるため歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、交差点改良に合わせ歩道を整備することにより、安心・安全な通行空間の確保を行う事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、設計・工事を実施することで合同点検結果を踏まえた交通安全対策を実施。

○国道10号 末吉町深川交差点改良

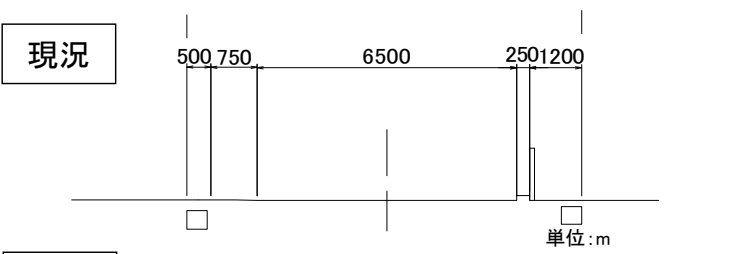
《位置図》



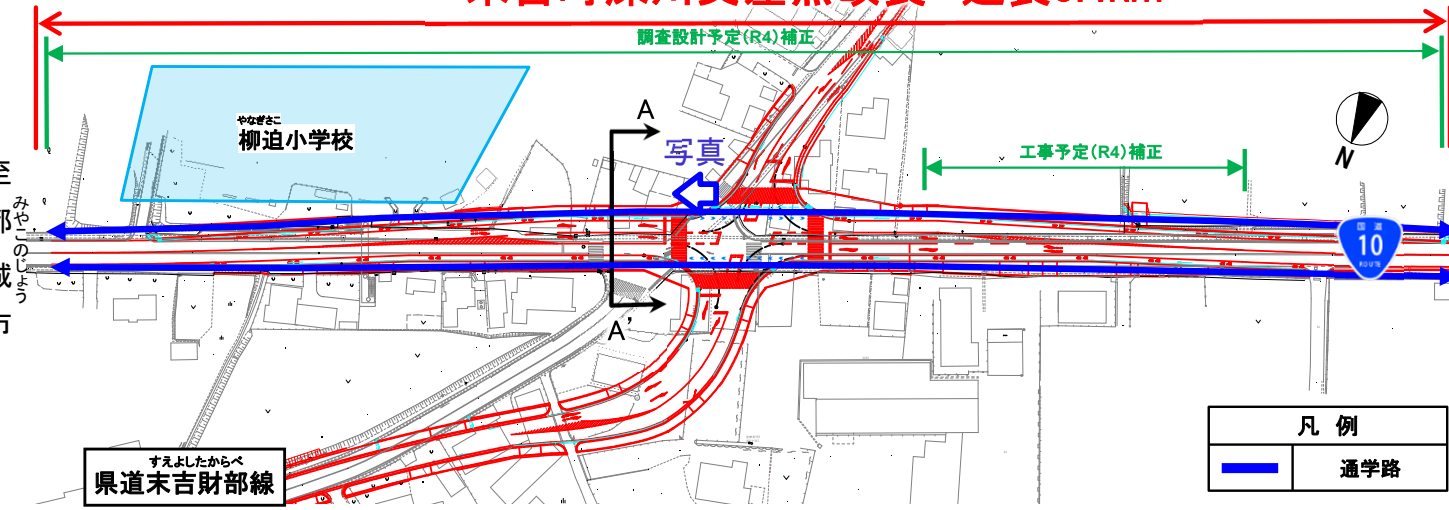
《諸元等》

事業区間：鹿児島県曾於市末吉町深川
延長：0.4 km
R4補正：0.7 億円

《計画横断図》



《平面図》



《現地状況写真》



凡 例	
	通学路

鹿児島3号 電線共同溝【直轄】

- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道3号 伊敷脇田地区電線共同溝



《諸元等》

事業区間：鹿児島県鹿児島市伊敷八丁目
～鹿児島市伊敷三丁目

整備延長：1.4 km (両側)

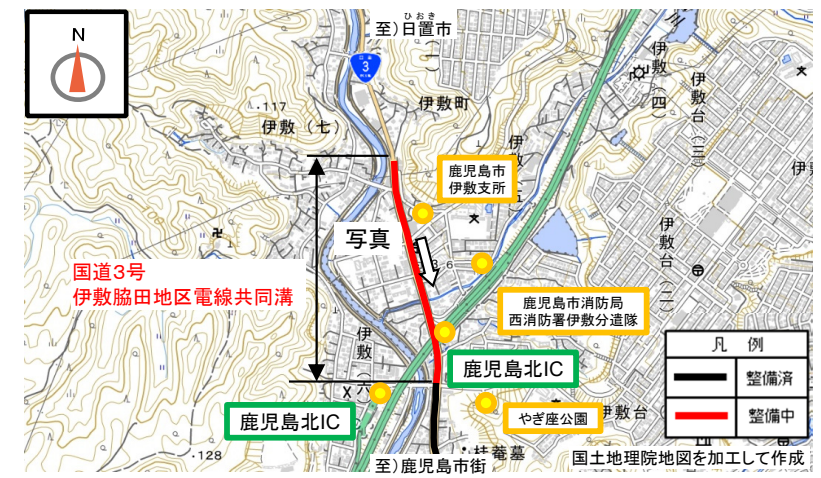
全体事業費：21億円

R4補正：1.6億円

《現地状況》



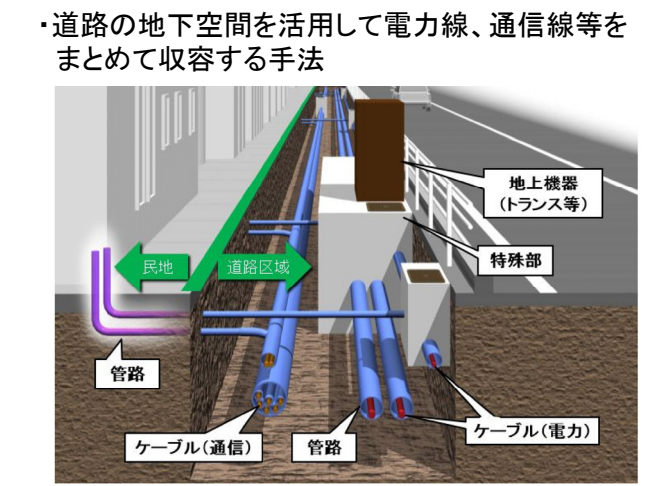
《路線位置図》



《整備の必要性》



《電線共同溝とは》



国道504号 広瀬道路【補助】

- 国道504号広瀬道路は、北薩横断道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道など一体となった広域交通ネットワークにより、鹿児島空港へのアクセス向上を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》

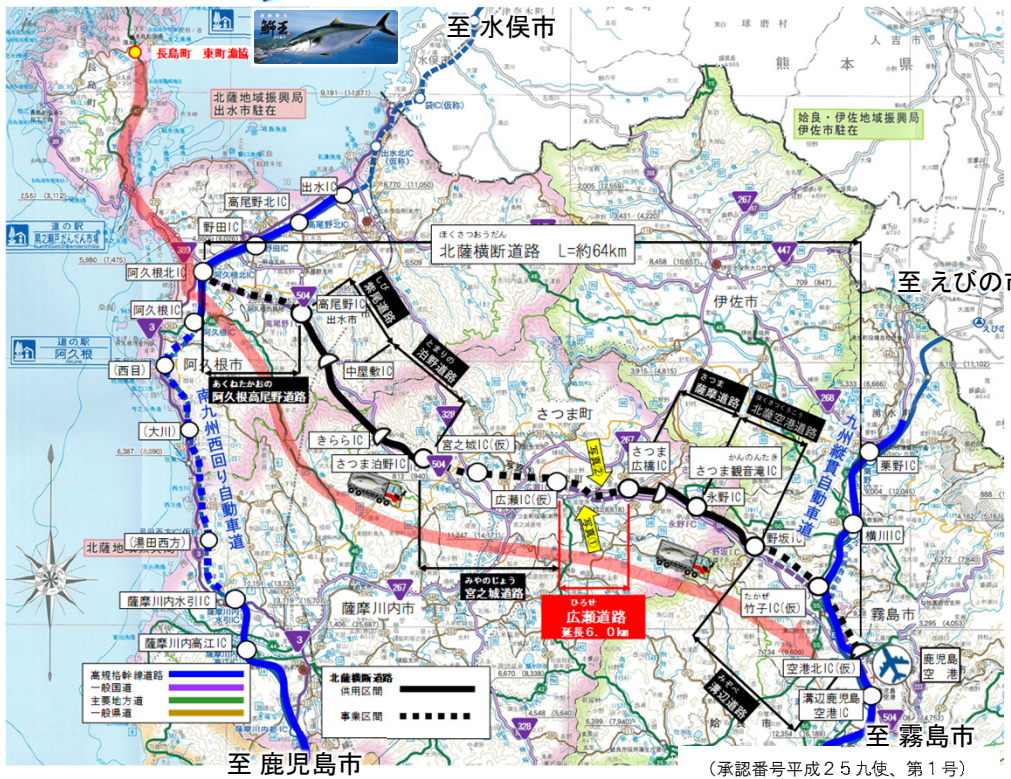


《諸元等》

事業区間：鹿児島県薩摩郡さつま町求名
～さつま町広瀬

延長：6.0 km
全体事業費：170億円
R4補正：9.0億円

《平面図》



《現地状況写真》



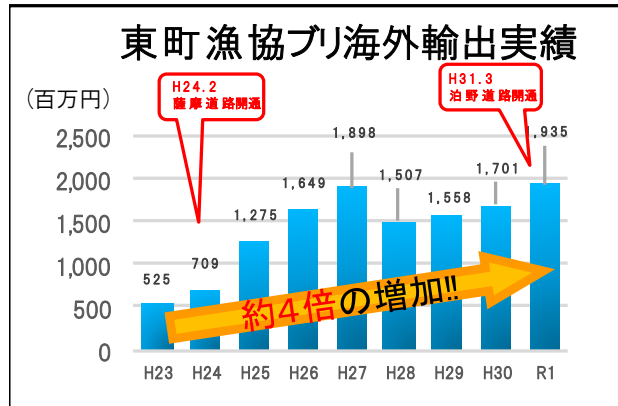
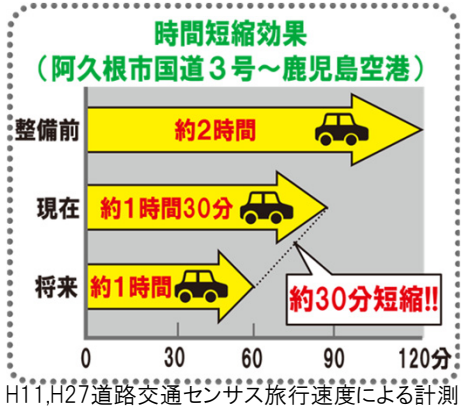
写真① ▲豪雨により落石が発生し交通遮断



写真② ▲豪雨により路面が冠水し交通遮断

《整備効果》

- 北薩横断道路の全線開通後、鹿児島空港から阿久根市国道3号まで約1時間の短縮。
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 鹿児島空港へのアクセス向上に伴い、特産品の農水産物は、鮮度向上が図られ、販路拡大が見込まれる。



主要地方道 志布志福山線 志布志道路【補助】

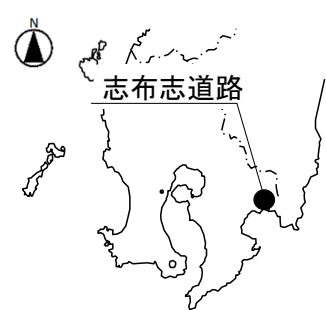
■主要地方道志布志福山線志布志道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道と重要港湾志布志港を直結して物流の効率化を図るとともに広域ネットワークによる地域間交流・連携を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

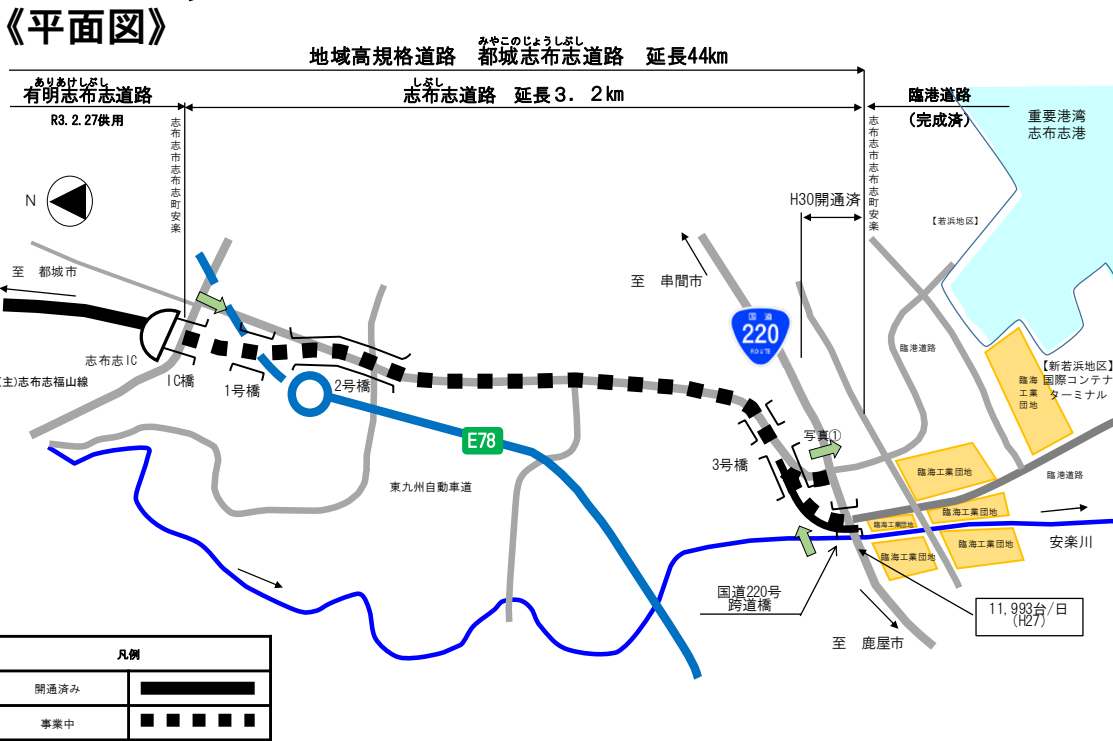
《位置図》

《諸元等》

《現地状況写真》

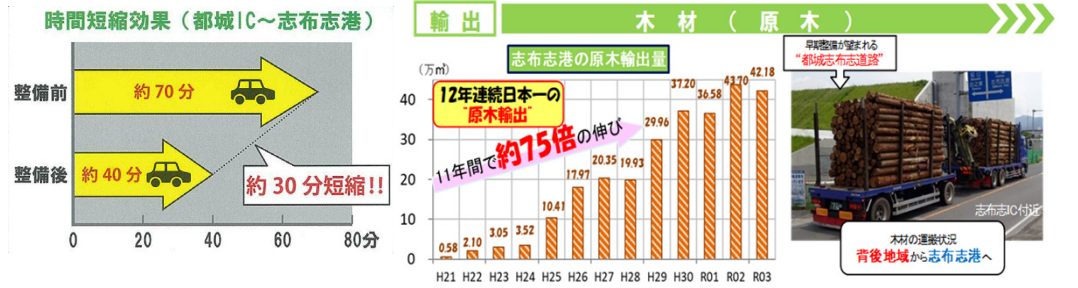


事業区間：鹿児島県志布志市志布志町安楽
延長：3.2km
全体事業費：205億円
R4補正：13.0億円



《整備効果》

- 都城志布志道路の全線開通後、都城ICから志布志港まで約30分の短縮
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 重要港湾である志布志港においては、原木輸出や配合飼料の輸入等が行れ、年々増加傾向にある。
- 運搬には都城志布志道路が活用されており、路線沿線では企業立地が進んでいる。



国道504号(市成工区)【補助】

■令和3年度通学路合同点検で抽出された対策必要箇所において、通学路の安全な通行を早期に確保するため、補正予算の充当により、歩道拡幅工事を実施することで、学校や地元住民等が実施するソフト対策と組み合わせた交通安全対策を推進。

《位置図》



《現地状況写真》

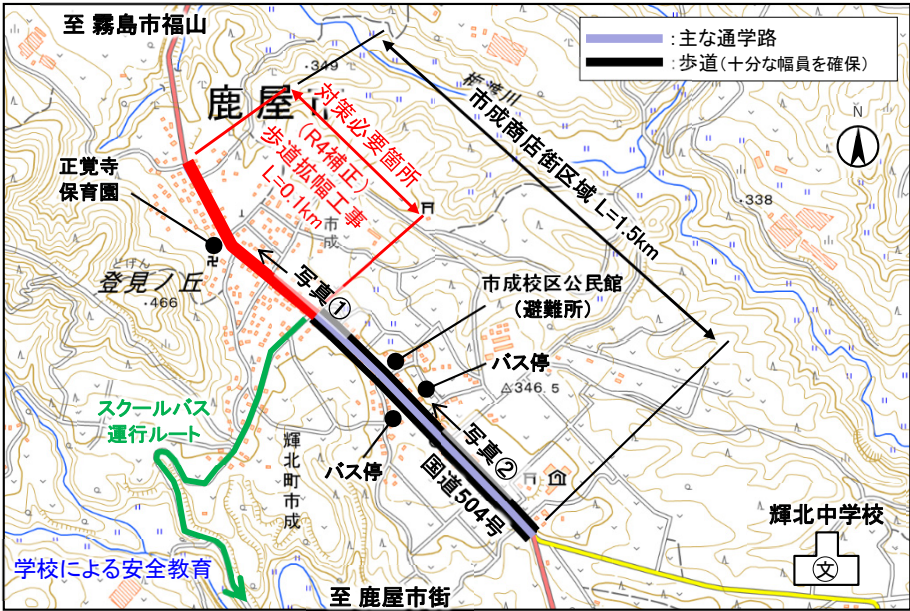


交通安全対策補助(通学路緊急対策)鹿児島県内
R4補正:2.7億円

《個別事例》
路線名:国道504号(市成工区)
事業箇所:鹿児島県鹿屋市
事業主体:鹿児島県

対策内容	
【学校・地元住民など】 ・学校による安全教育	【道路管理者】 ・歩道拡幅

《平面図》



《横断面図》

